

県民参加
による

森林環境の保全と 森林と共生する 文化の創造をめざして

令和3年度森林環境税活用事業実績報告書



愛媛県イメージアップキャラクター
まじめみきゃん





— はじめに —

森林は、人間の生活に必要な木材を供給するだけでなく、清らかな水や空気を生み出し、更には、地球温暖化や土砂災害の防止にも貢献するなど、私たちの快適で安全・安心な暮らしに不可欠な「緑の社会資本」です。

県では、県土の7割を占める約40万haの森林を健全な姿で次世代に引き継いでいくため、平成17年度に森林環境税を導入し、「森をつくる」「木をつかう」「森とくらす」の三つの分野において、豊かな森林の保全・再生に向けた取り組みを進めてきました。

こうした施策により、県民の森林に対する意識も高まり、「県民参加の森林づくり」は着実に進展しています。また、近年、SDGsの実現や頻発化・激甚化する自然災害の被害軽減・防止に向け、森林が有する多面的機能への期待はますます大きくなっております。

このような中、県民の皆様の御理解を賜り、令和2年度から6年度までを第4期として森林環境税を継続し、引き続き、森林の整備や活用に力を注いでいるところです。

本書は、令和3年度の実績を取りまとめたものであり、ぜひ御一読いただき、本県の森林環境税への御理解と、森林に対する関心を更に深めていただければ幸いです。

今後とも、県民共有の財産である森林を守り、育てていくため、効率的、効果的な事業推進に努めて参りますので、皆様方におかれましては、一層のお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

令和4年8月

愛媛県知事 中村時広



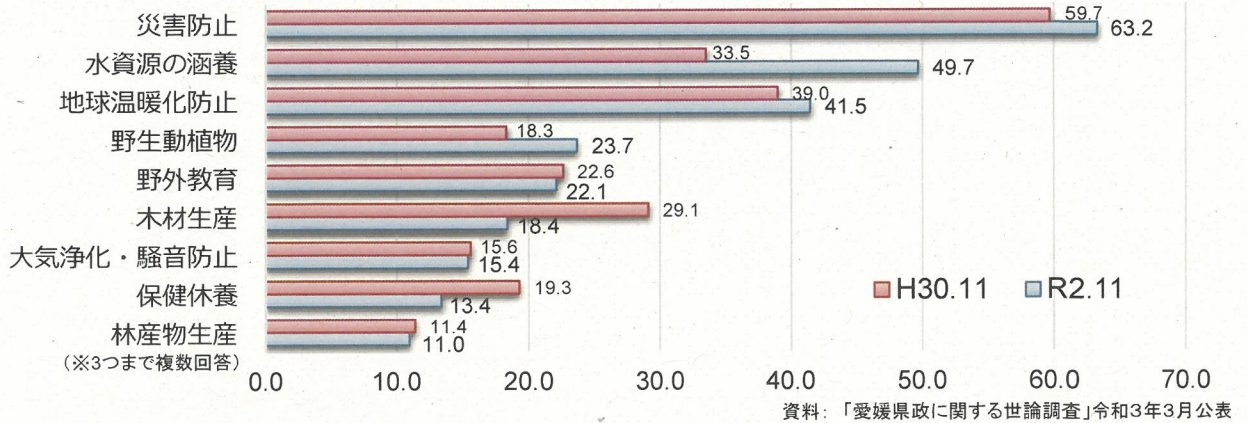
〈愛称〉E~もりくん

「E~もりくん」は、森林環境税の普及啓発用シンボルマークです。平成20年10月に本県で開催された「第32回全国育樹祭」のシンボルマークとしても活躍いたしました。

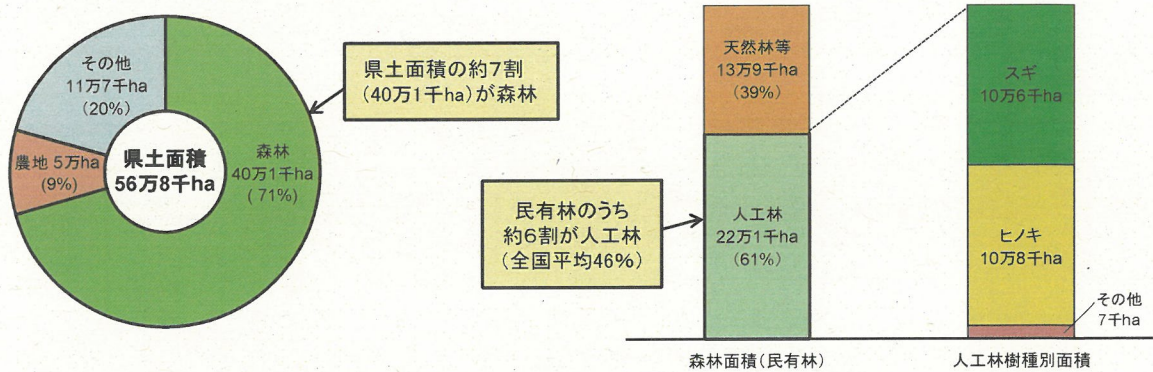
デザイン いけだ 池田 まさよ 正誉
愛称 たかつき 高月 ゆうま 悠馬

愛媛県の森林・林業を取り巻く環境

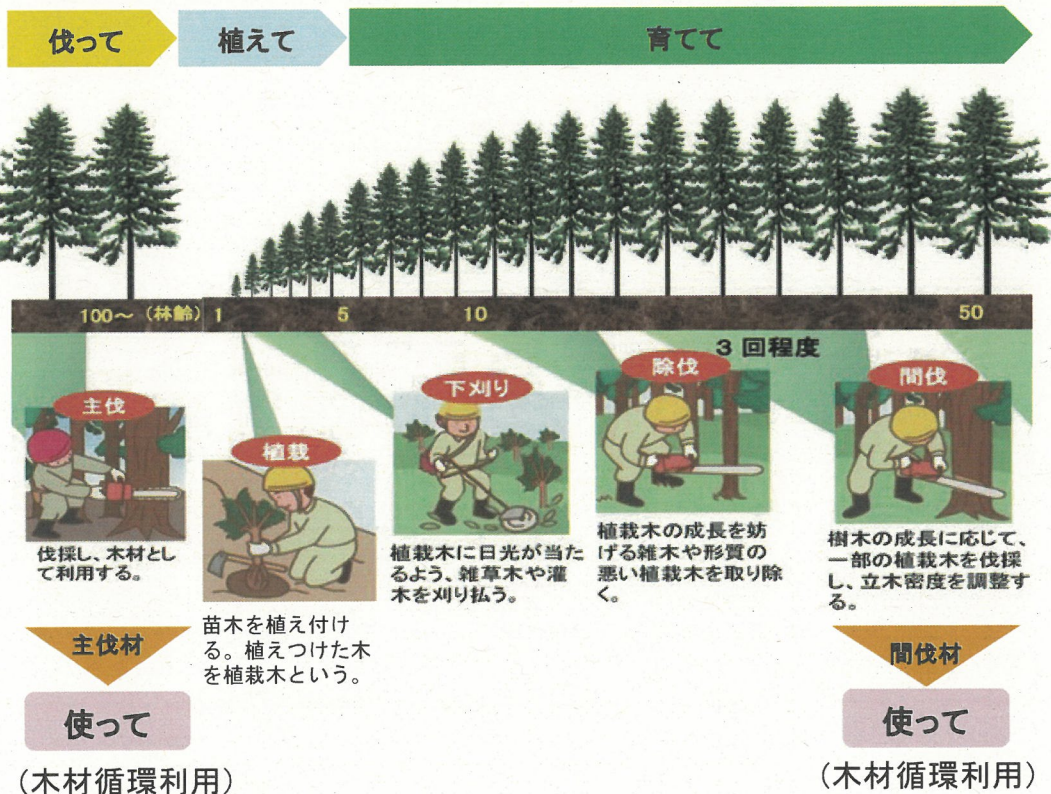
1. 県民の森林に期待する働き



2. 県土面積と人工林の面積




3. 森林(人工林)の循環利用サイクル



森林環境税は えひめの森林づくりに役立っています

私たちのふるさと愛媛は、県土の7割を森林がしめる緑豊かな恵まれた環境にあります。
これらの森林は、かけがえのない県民共有の財産であり、健全な姿で次代に引き継ぐため、
森林環境税を活用し、自然との調和を図りながら「県民参加の森林づくり」を進めています。



森林環境税

【納める額】 個人 年額700円 法人 年間1,400円～56,000円
(資本金などに応じた額)

【納める人】 県内に住所がある個人 県内に事務所がある法人

【期 間】 令和2年度～令和6年度

森林環境税は、県民税均等割に上乗せする方法で納めていただいています。



森林環境税を活用した事業

県指定事業

森をつくる

県民共有の財産である森林を、水源かん養や山地災害防止など公益的機能が発揮できるよう森林の整備や保全に努めます。




間伐による健全な森づくり コンテナ苗の育成

県指定事業

木をつかう

森林から生まれ、人に優しく地域の環境保全にも貢献する木材を、より身近に利用していくことに努めます。




木造公共施設の整備 林福連携セミナーの実施

県指定事業

森とくらす

森林との出会いやふれあいを通して森林を知り、森林を身近に感じて森林を愛する契機を創り出すことに努めます。




えひめ山の日の啓発 森林環境教育の推進

公募事業

県民の自発的な提案による森林環境保全等の活動に対する支援を行い、県民参加の森林づくり活動の一層の推進を図ります。




林業体験学習の実施 放置竹林の整備

目 次

I	愛媛県森林環境税導入の経緯	…… 1
	1 森林の働き	
	2 愛媛の森林の現状	
	3 森林環境税導入の必要性	
II	第4期森林環境税について	…… 9
	1 第4期森林環境税導入の必要性	
	2 第4期森林環境税の施策の方針	
III	森林環境税を活用した施策の仕組み	…… 12
IV	森林環境税を活用した事業の成果指標と目標値	…… 14
	1 第1期森林環境税の事業目標と実績	
	2 第2期森林環境税の事業目標と実績	
	3 第3期森林環境税の事業目標と実績	
V	令和3年度事業実績	…… 21
	1 事業総括表	
	2 事業別実績	
	(1) 県指定事業	
	【森をつくる活動】	
	① 森林整備推進事業	…… 23
	② 集落等山地災害危険地区整備事業	…… 24
	③ フォレスト・マイスター養成支援事業	…… 26
	④ 有害鳥獣総合捕獲事業	…… 28
	⑤ 特定鳥獣保護管理計画推進事業	…… 29
	⑥ 優良種苗確保事業	…… 31
	⑦ 林業躍進プロジェクト推進事業	…… 33
	⑧ 林業架線作業促進事業	…… 35
	⑨ 次世代型林業作業システム実証事業	…… 36
	【木をつかう活動】	
	① 木質バイオマス利用促進事業	…… 37
	② 公共施設木材利用推進事業	…… 39
	③ 木の香る公園施設整備事業	…… 41
	④ えひめ材住宅普及啓発事業	…… 43
	⑤ 愛媛県産材製品市場開拓促進事業	…… 45
	⑥ CLT 建築物建設促進事業	…… 47

⑦ 特養林産物生産販売促進事業	…… 4 9
⑧ えひめこどもの城「To-beの森」プロジェクト	…… 5 1
⑨ 大洲庁舎整備事業費	…… 5 2
【森とくらす活動】	
① 県民と森との交流促進事業	…… 5 3
② 林業普及指導事業	…… 5 6
③ 「森に親しむ博物館」開催事業	…… 5 8
④ 森林病虫獣害対策事業	…… 6 0
⑤ アートの森プロジェクト事業	…… 6 2
(2) 公募事業	
県民参加の森林づくり公募事業	…… 6 4
令和3年度県民活動提案公募事業活動状況	…… 6 6
資料編	
愛媛県森林環境税条例	…… 9 1
愛媛県森林環境保全基金条例	…… 9 4
愛媛県森林環境保全基金運営委員会委員名簿	…… 9 5

I 愛媛県森林環境税導入の経緯

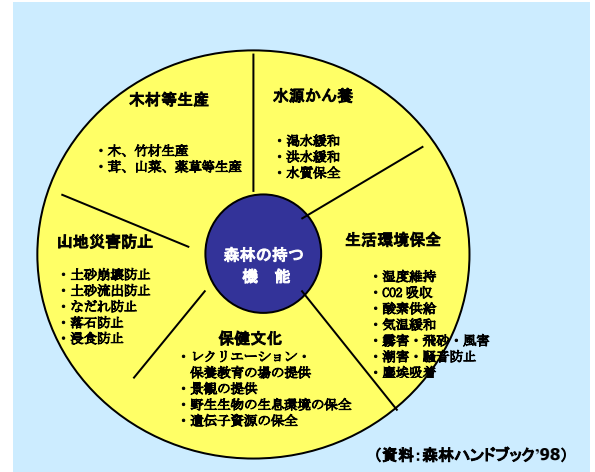
I 森林環境税導入の経緯

1 森林の働き

(1) 森林の持つ機能の種類

森林は、土砂の流出や崩壊を防ぐ機能、洪水や渇水を緩和する機能、風害や潮害を防ぐ機能、騒音や気候を緩和する機能、安らぎや憩いの場、教育的利用の場を提供するなどの保健・文化・教育的な機能、再生可能で環境に与える負荷も少ない木材の生産機能などを有しており、有形・無形に古くから私達の生活と深く関わっています。

特に最近では、地球温暖化防止に寄与する二酸化炭素を吸収・貯蔵する機能や多種多様な動植物の生息・生育の場を提供する生物多様性を保全する機能についても国際的に関心が高まりつつあるなど、森林に対する期待は多様化・高度化してきています。



水源かん養



保健文化



木材等生産

(2) 森林の機能の評価

森林の機能については、本来、そのすべてを数値で評価することは不可能とされていますが、金額に置き換えることが可能な一部の公益的機能については、平成12年9月に林野庁から74兆9,900億とその評価額が公表されており、同じように愛媛県内の森林に置き換え算定したところ、1兆1,267億円となっています。

また、平成13年1月に日本学術会議が農林水産大臣に答申した「地球環境・人間生活にかかわる農業及び森林の多面的な機能の評価」では、年約70兆円と算定されています。

ただし、「森林の機能は総合的に発揮されるため、森林の価値を個々に評価し、単純に集計することは、森林の本質を正しく伝えられない可能性がある」こと、また「ひとつの機能を評価した場合、それ以外の機能が無視される傾向がある」ことなどに注意する必要があるとしています。



評価額は、平成12年度に林野庁で実施した評価手法を用いて試算したものです。

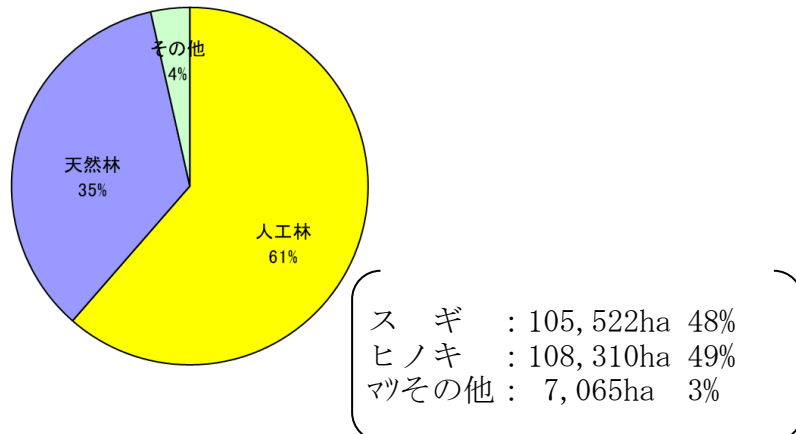
2 愛媛の森林の現状

(1) 愛媛の森林の特徴

愛媛の森林面積は、令和3年度末現在、県総土地面積567,616haの71%に当たる400,993haとなっており、うち民有林面積の占める割合が90%、残り10%を国有林が占めています。民有林における人工林率は、戦後の積極的な植林によって61% (220,896ha) となっており、その内訳はスギ48% (105,522ha)、ヒノキ49% (108,410ha)、マツその他3% (7,065ha) となっています。

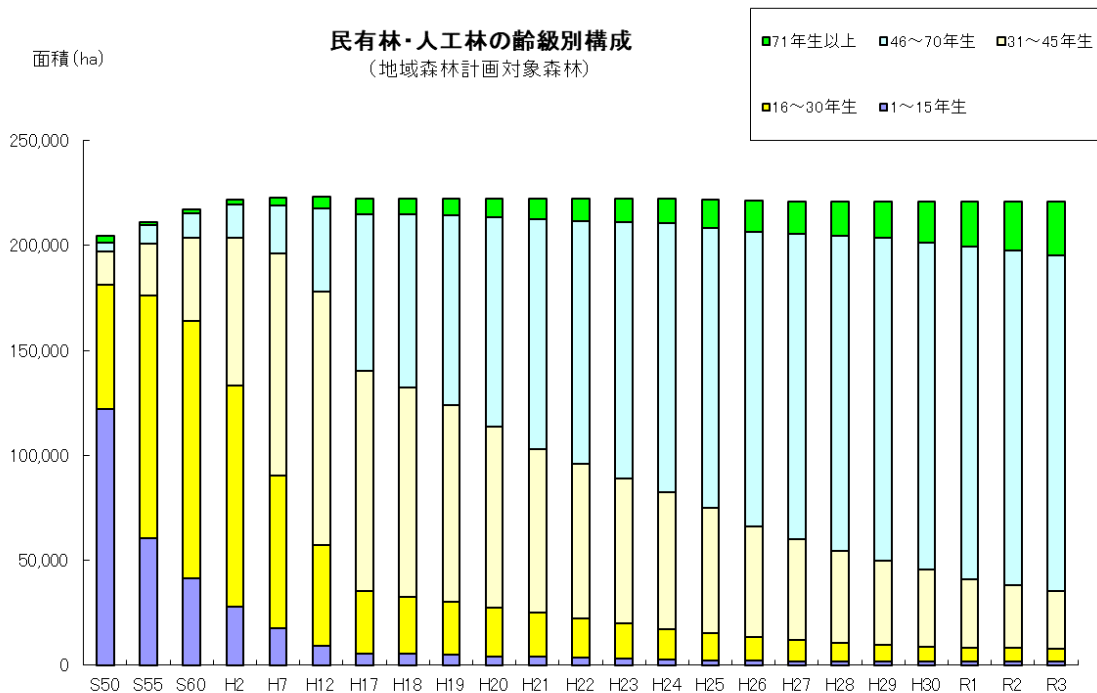
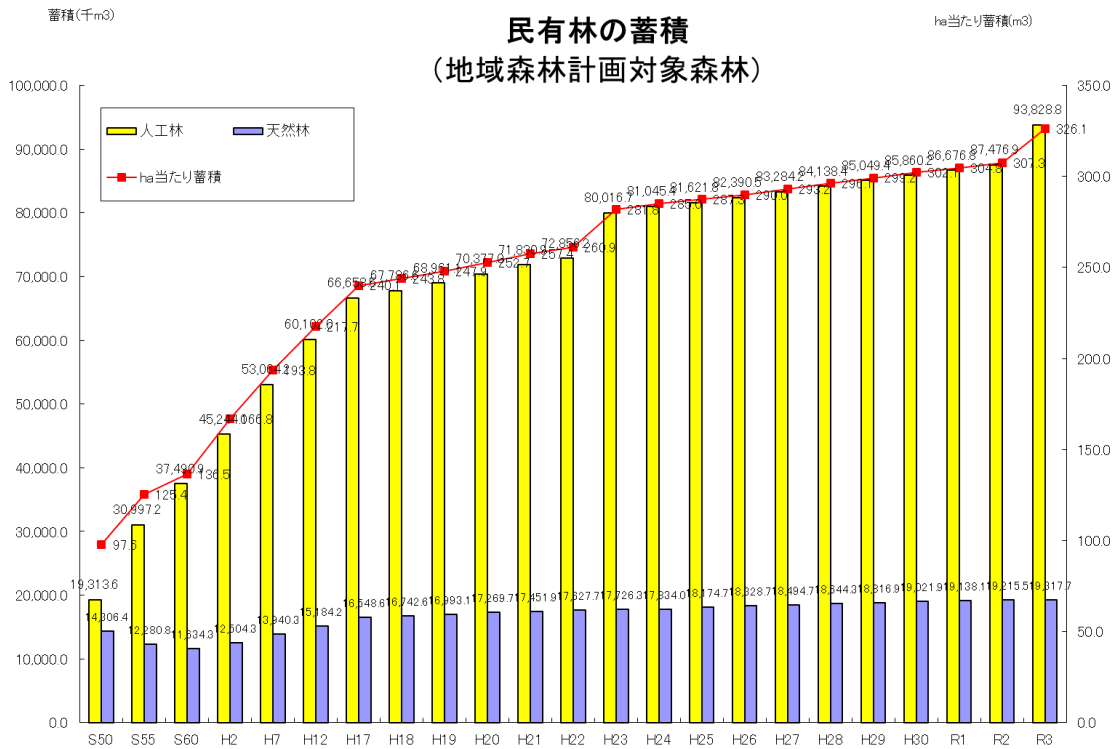
また、県内の森林から伐り出されている素材の生産量は、令和3年末現在で563千m³で全国第13位となっています。

民有林の人工林と天然林等の割合 (R03)
(地域森林計画対象森林)



(2) 愛媛の森林の変遷

次に時系列で愛媛の森林の概要を見ると、令和3年の民有林森林面積は昭和50年の359,611haに対して359,652haと横ばいであるが、森林の蓄積（立木の体積）は、昭和50年の約3,362万m³に対して令和3年には1億1,315万m³と約3.4倍に増加しています。このうち、人工林では植林による面積の増加や間伐などの保育作業の実施による植栽木の成長により蓄積は4.9倍に増加しています。この人工林の年齢構成を年齢別に見ると、昭和20年代から50年代に植えられた充実期を迎えた46年～70年生の森林が160,053haと最も多く、また、除伐や間伐が必要な16年～45年生の森林が人工林面積の15%（33,251ha）を占めています。



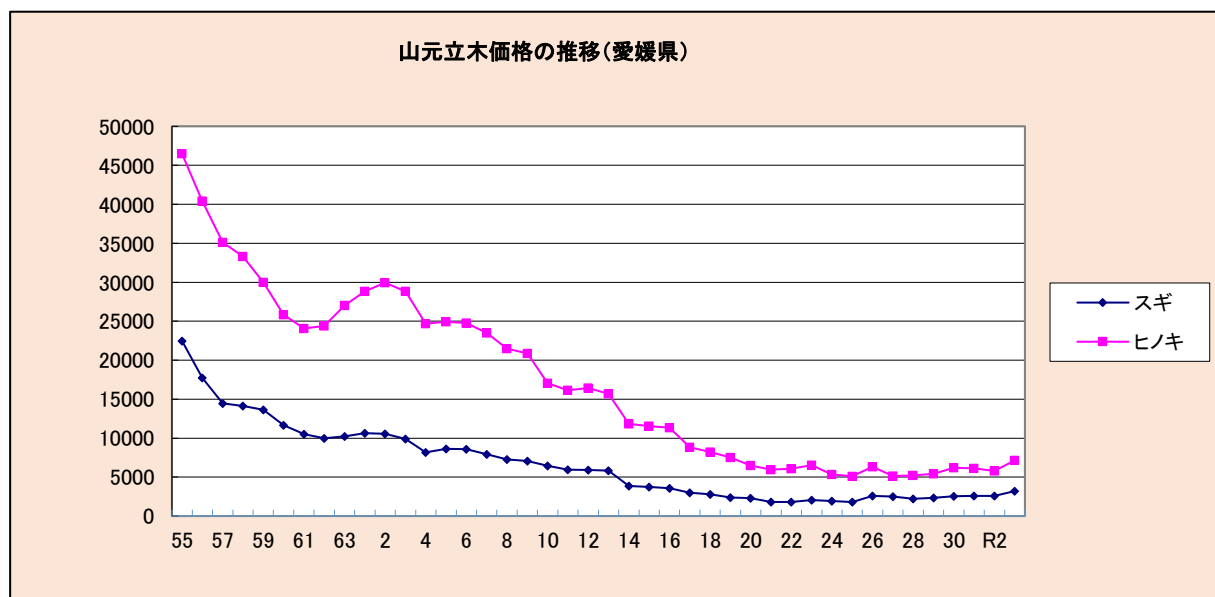
(3) 森林・林業を取り巻く状況

人工林の拡大は、昭和30年代における豊富な農山村の労働力等に支えられ、全国的な広がりを見せましたが、高度経済成長期に増加した急激な木材需要に応じるには、当時は若齢であり、利用可能な人工林が少なかったことなどから、外国産材の輸入が行われるようになりました。

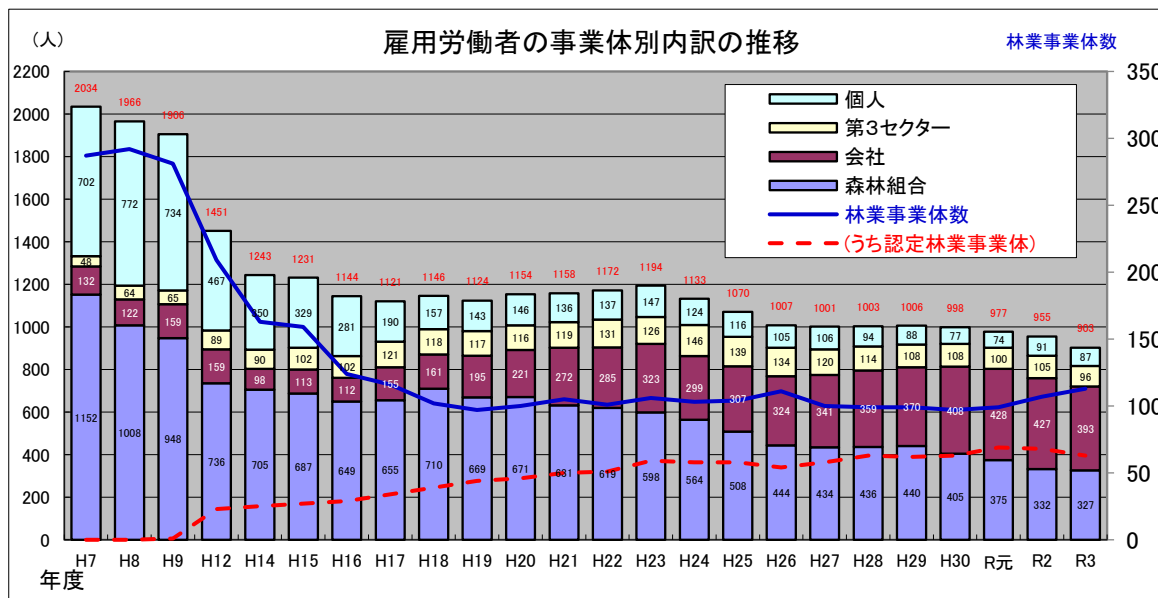
このため、現在は、若干回復傾向にはありますが、ピーク時では8割強を外国産材に頼ってきたとります。また、農山村から都会への人口流出、更には木材を代替する建築資材の台頭や住宅着工戸数の減少などの社会的要因とともに、木材生産に欠かせない林道等の基盤整備、機械化の遅れ、木材価格の下落等により、木材生産の採算が合わない厳しい状況が続いております。このような理由から、造成された人工林も次第に管理不足や放置されるようになってきており、人工林は今、活力を失いつつあります。



これらの森林を守ってきた林家の林業経営状況等を見ると、県内の山元立木価格は、スギ・ヒノキともにピーク時だった昭和55年以降ずっと下落しており、1m³（柱に加工される長さ3mの丸太では20本程度）当たりの立木価格は令和3年でスギ約3,200円、ヒノキ約7,137円程度と、昭和50年のスギ約20,500円、ヒノキ約36,700円に比べてそれぞれ16%、19%にまで下落しています。昭和50年当時の物価水準を考えると価格の低下は著しいものと言わざるを得ません。



一方、林家と共に林業の担い手である県内の林業事業者（森林組合・会社・第3セクター・個人）の数及び雇用労働者数は、平成7年には287事業者（1事業者当たり平均雇用労働者数7.1人）、2,034人が、令和3年には113事業者（1事業者当たり平均雇用労働者数8.0人）、903人にまで減少しています。



このような状況を反映して、平成12年度に県が行った放置された森林の実態調査によると、人工林（針葉樹）の約30%にあたる63,000haが、概ね10年間手入れされていないという結果となり、この対策として、平成14年度から（公財）愛媛の森林基金が事業主体となり、森林所有者に代わって間伐を行う「公的管理」による放置森林の整備を実施し、平成23年度末までに4,897haの人工林で間伐を行っております。

3 森林環境税導入の必要性

森林は、県土の保全や山地災害の防止、水資源のかん養など多様な機能を有しており、これらの機能の健全な発揮に対する県民の期待は一層高まるとともに、地球温暖化問題や自然との共生のあり方への関心の高まりを背景として、二酸化炭素の吸収、生物多様性の保全機能や保健文化的利用の場の提供など、森林の多面的機能の発揮がより一層求められています。

森林を有する多くの山村地域においては、林業という生業を通じて森林整備を推進するとともに、雇用の場の確保が図られ、地域の活性化に大きく寄与してきましたが、外材輸入、木材価格の低迷、さらには、過疎・高齢化により、森林整備を担ってきた多くの山村集落は限界集落への道を辿りつつあり、健全な山村社会を形成するためには、将来にわたり持続的に森林を維持・管理する担い手の確保や林業の振興が急務となっています。

このため、愛媛県では、平成13年を「森林そ生元年」と位置付け、森林の環境資源としての役割を重視し、多様な森林づくりと県産材の利用促進に取り組み、さらに平成17年度から

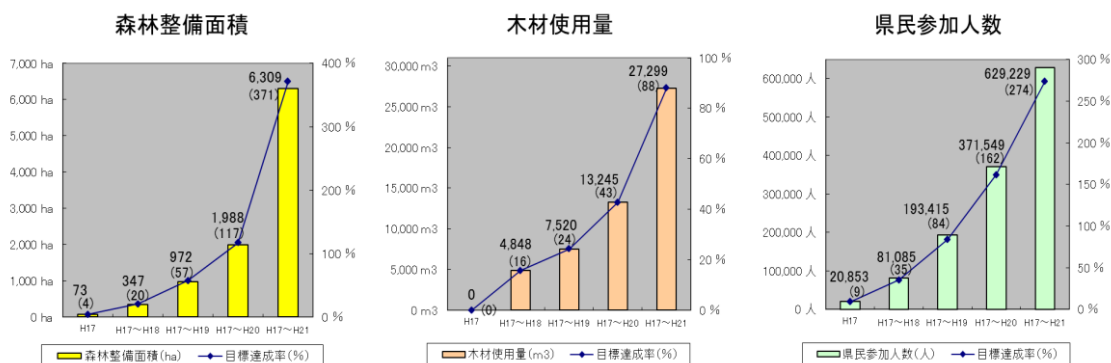
は、それまでの「森林そ生対策」をさらに進め、県民共有の財産である森林を「県民全体」で守り育てていくため、県民参加による「森林環境の保全」と「森林と共生する文化の創造」を目的とする森林環境税を導入しました。

第1期森林環境税（H17～H21年度の5カ年間）では、

- すべての県民の参加によって
- 森林を守り、健全に育つことができるよう手助けし
- その働きをすべての県民が理解し、かつ主体的に享受する

として、県民参加の森林づくりをテーマに「森をつくる」「木をつかう」「森とくらす」ための具体的な取り組みを推進し、第1期が終了した平成21年度末には、3つの成果指標に対して、6,309haの森林整備、約27,000m³の木材使用、約629,000人の県民参加など目標を大きく上回る成果を残すことができました。

【第1期森林環境税を活用した事業の成果指標と目標値（H17～H21の5カ年間）】

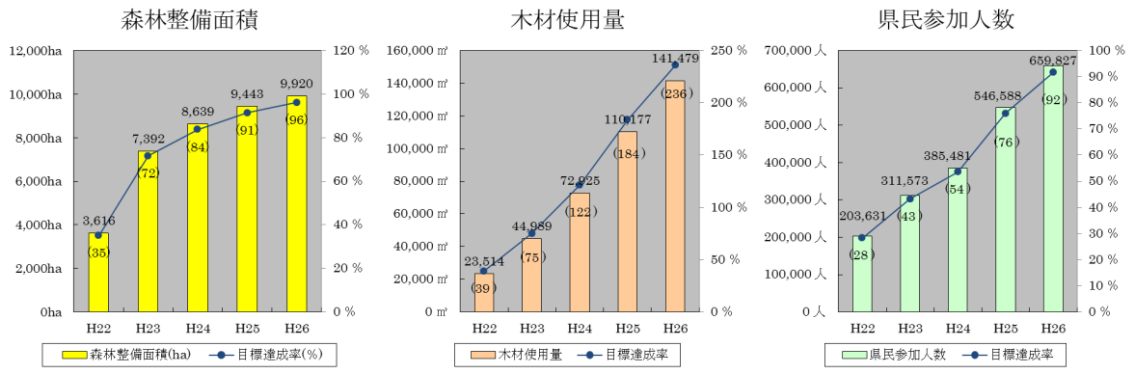


また、第2期森林環境税（H22～H26年度の5カ年間）では、未だ整備されていない森林が多く存在している状況であることから、

- 県民参加のもと森林整備の拡大と加速化を進める
- 森林資源の徹底した活用により、森林整備の担い手である林業の再生を図る

として、第1期と同様、「森をつくる」「木をつかう」「森とくらす」に区分して取り組みを推進し、第2期が終了した平成26年度末には、3つの成果目標に対して、9,920haの森林整備、約140,000m³の木材使用、約660,000人の県民参加の実績となり目標を概ね達成することができました。

【第2期森林環境税を活用した事業の成果指標と目標値（H22～H26の5カ年間）】



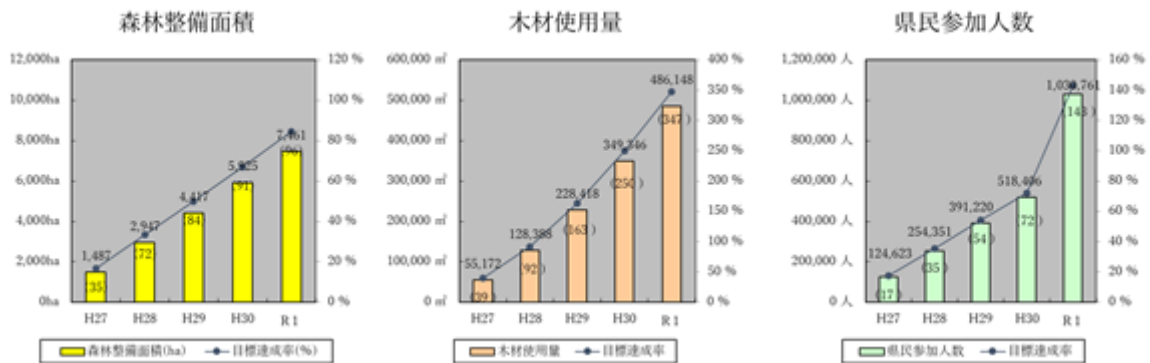
さらに、第3期森林環境税（H27～R元年度の5カ年間）では引き続き、

○県民参加のもと森林整備の拡大と加速化を進めるとともに、獣害対策にも重点を置く

○森林資源の徹底した活用により、森林整備の担い手である林業の再生を図る

として、第1期、第2期と同様、「森をつくる」「木をつかう」「森とくらす」に区分して取り組みを推進し、第3期が終了した令和元年度末には、3つの成果目標に対して、7,461haの森林整備、約480,000m³の木材使用、約1,030,000人の県民参加の実績となり目標を概ね達成することができました。

【第3期森林環境税を活用した事業の成果指標と目標値（H27～R元の5カ年間）】



Ⅱ 第4期森林環境税について

Ⅱ 第4期森林環境税について

1 第4期森林環境税導入の必要性

森林を有する多くの山村地域においては、林業という生業を通じて森林整備を推進するとともに、地域の活性化に大きく寄与してきましたが、木材価格の低迷、さらには、過疎・高齢化により、森林整備を担ってきた多くの山村集落は臨界集落への道をたどりつつあり、森林の荒廃が進む中、将来にわたり持続的に森林を維持・管理する担い手の確保や林業の振興が急務となっています。

一方、森林は、県土の保全や山地災害の防止、水資源の涵養など多様な機能を有しており、この機能の健全な発揮に対する県民の期待は一層高まるとともに地球温暖化問題や自然との共生のあり方への関心の高まりを背景として、二酸化炭素の吸収、生物多様性の保全機能や保健文化的利用の場の提供など、森林に対する期待は、多様化・高度化してきています。

このため、愛媛県では、森林の環境資源としての役割を重視した多様な森林づくりと県産材の利用促進に取り組むとともに、県民参加による「森林環境の保全」と「森林と共生する文化の創造」を目的として、平成17年度に森林環境税を導入し、平成27年度からは、第3期目として森林整備の拡大と加速化を進めるため、継続・拡充してきたところです。

この結果、県民の森林づくりへの参加など、県民の森林に対する意識が高まり着実な進展が見られてところですが、森林・林業の現状を見ると、以下のような状況であり、森林の持つ機能・役割が益々増大してきており、森林の整備・活用が一層必要となっています。

平成30年に実施した県民意見交換会によれば、森林環境税を継続した場合の主要意見として、「林業の活性化が必要である」、「災害に強い森林づくりが大切である」など、森林の整備・保全等に関する意見が多く集められ、続いて「木材の安定供給が必要」、「森の素晴らしさを伝える場づくりが必要」など森林への関心も広がりを見せている状況となっています。

これらのことから、森林の持つ公益的機能を健全に発揮するためには、適切な森林整備を実施していくことが重要であり、森林整備を疎かにすることは、森林の持つ公益的機能の低下を早める結果となることから、今後とも継続的な対応が必要となります。

また、近年の集中豪雨による林地災害にも早急な対応が望まれる中災害に強い森林づくりを推進し、県民の安全で安心な生活を確保する必要があります。

さらには、森林資源の循環利用や木質資源の有効利用を促すとともに、林業に深刻な影響を与えているニホンジカによる森林被害に対してもこれまで以上に対策を講じる必要があります。

このような状況の中、森林を県民共有の財産として健全な姿で次世代に引き継ぐためには、県民参加のもと、引き続き森林整備を進めるとともに、森林資源の徹底した管理、また活用による林業の再生が必要不可欠であることから、その財源としての森林環境税の継続が必要となります。

2 第4期森林環境税の施策の方針

目的及び事業は、前森林環境税と同様に、「森林環境税の保全」と「森林と共生する文化の創造」を目的として、これに即して「森をつくる」「木をつかう」「森とくらす」に区分して事業化します。

第4期森林環境税では、「森をつくる」分野として、資源の循環利用を促進する森林づくりを展開し、「木をつかう」分野として、木質資源の利用促進や安定供給体制づくりを確立し、「森とくらす」分野として、森林を身近に感じる県民参加の森林づくりの拠点を整備するなどの施策に重点を置き、更なる強化を進めることとします。

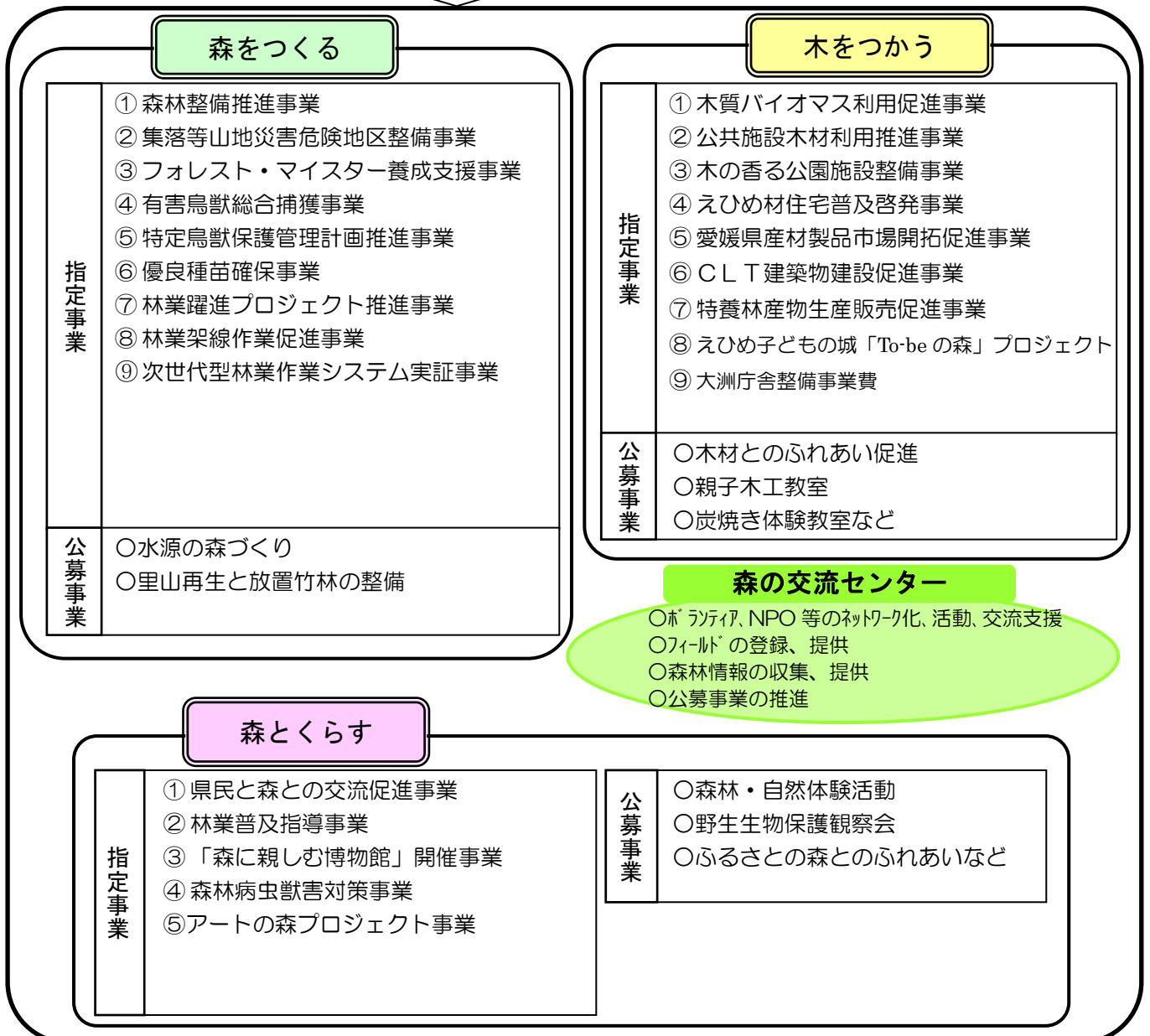
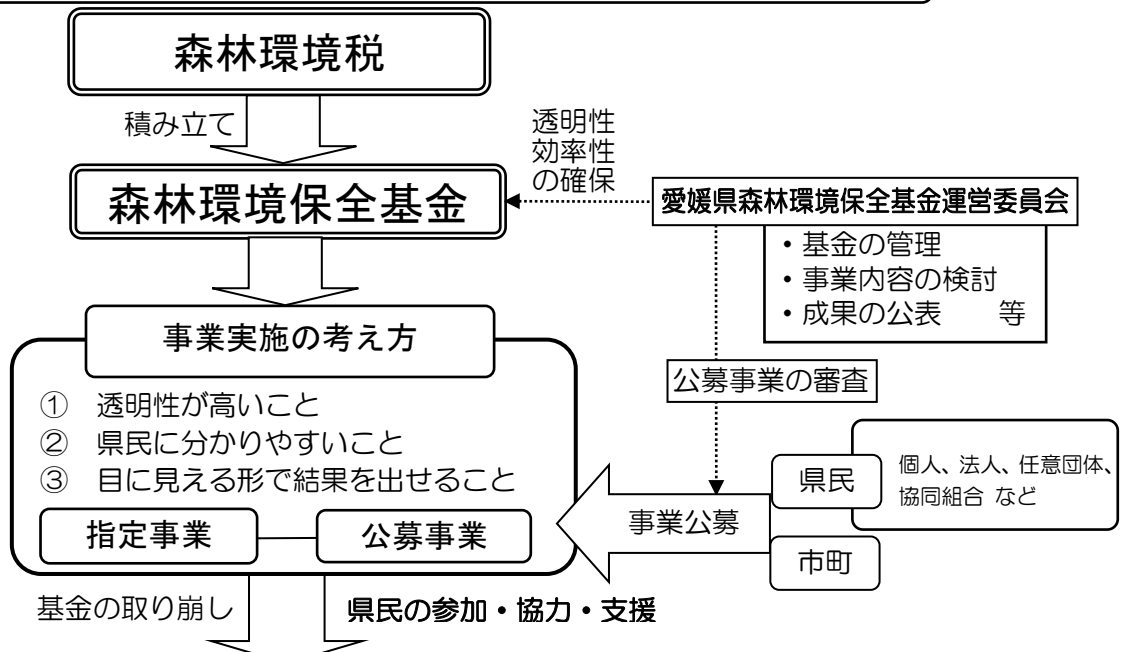
引き続き県民を対象とした森林体験や森林との交流活動を行い、森林を県民全体で支える活動を促進します。

事業化にあたっては、追加課税であることから、透明性が高いこと、県民にわかりやすいこと、県民の目に見える形で結果が出せることを前提とします。

Ⅲ 森林環境税を活用した 施策の仕組み

森林環境税を活用した施策の仕組み（令和3年度事業）

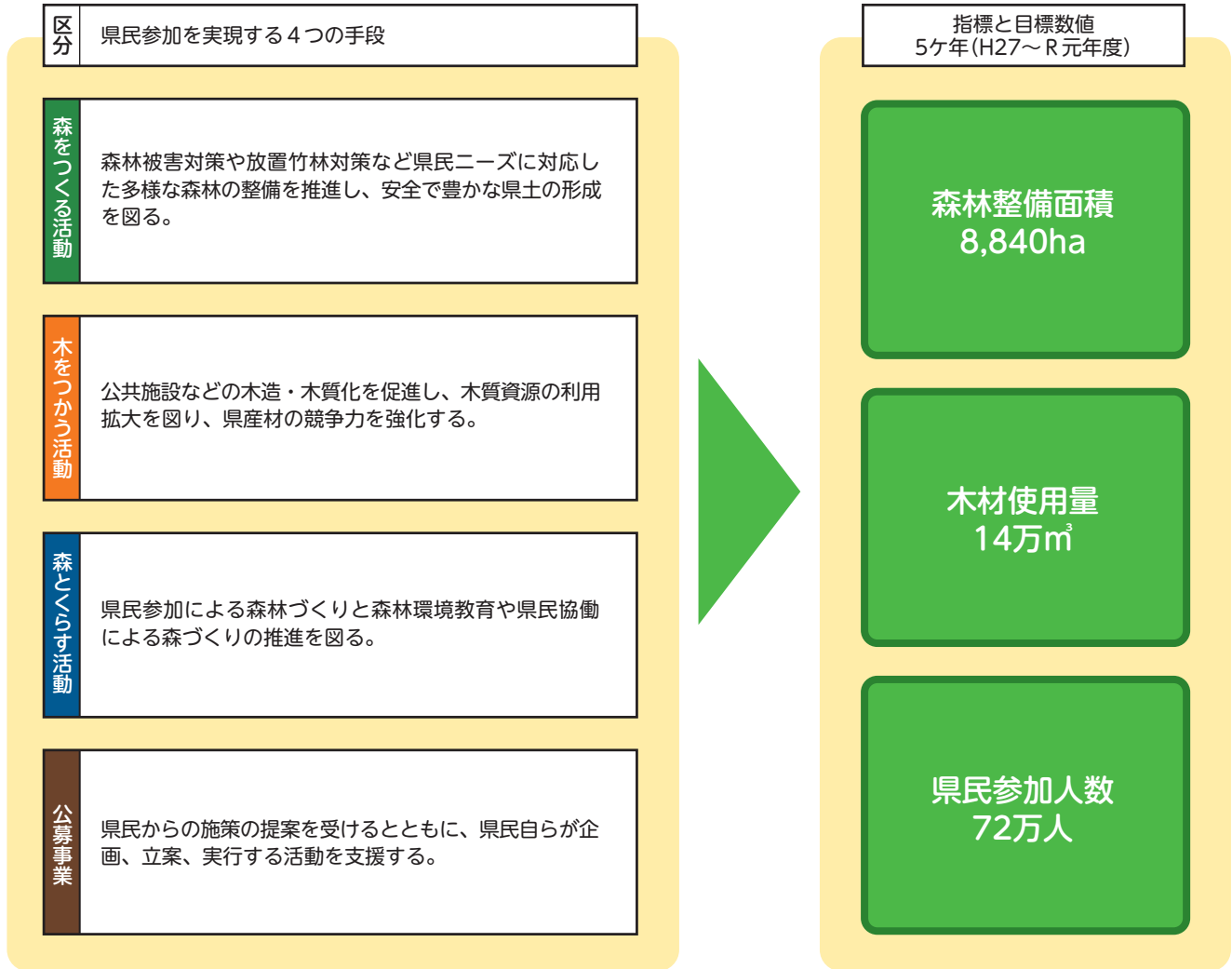
— 森林環境の保全と森林と共生する文化の創造 —



IV 森林環境税を活用した事業の 成果指標と目標値

第3期森林環境税の目標と実績

I 第3期森林環境税の事業目標



II 第3期森林環境税の事業実績

目標項目	目標数値	実績							
		H27	H28	H29	H30	R1	計	達成率(%)	
森林整備面積(ha)	8,840	1,487	1,460	1,470	1,508	1,536	7,461	84	
木材使用量(m ³)	140,000	55,172	73,216	100,030	120,928	136,802	486,148	347	
県民参加人数(人)	720,000	124,623	129,728	136,869	127,186	512,355	1,030,761	143	
内訳	木とふれあう人数	400,000	72,762	73,929	86,662	58,630	428,875	720,858	180
	森と交流する人数	250,000	40,273	44,905	38,702	56,476	41,202	221,558	89
	公募事業に参加する人数	70,000	11,588	10,894	11,505	12,080	42,278	88,345	126

第3期森林環境税 事業実績(平成27~令和元年度)

事業総括表

◎基金繰入額

積立金	内 容	決算額					
		H27	H28	H29	H30	R1	計
森林環境保全基金 積立金	森林環境税を財源に、全ての県民で支える森づくりの理解と参加の促進及び公益的機能を発揮できる森林保全の事業を計画的かつ確実に実施するため、基金を積み立てる。	540,595,797円	542,134,654円	555,144,541円	560,527,733円	560,144,749円	2,758,547,474円

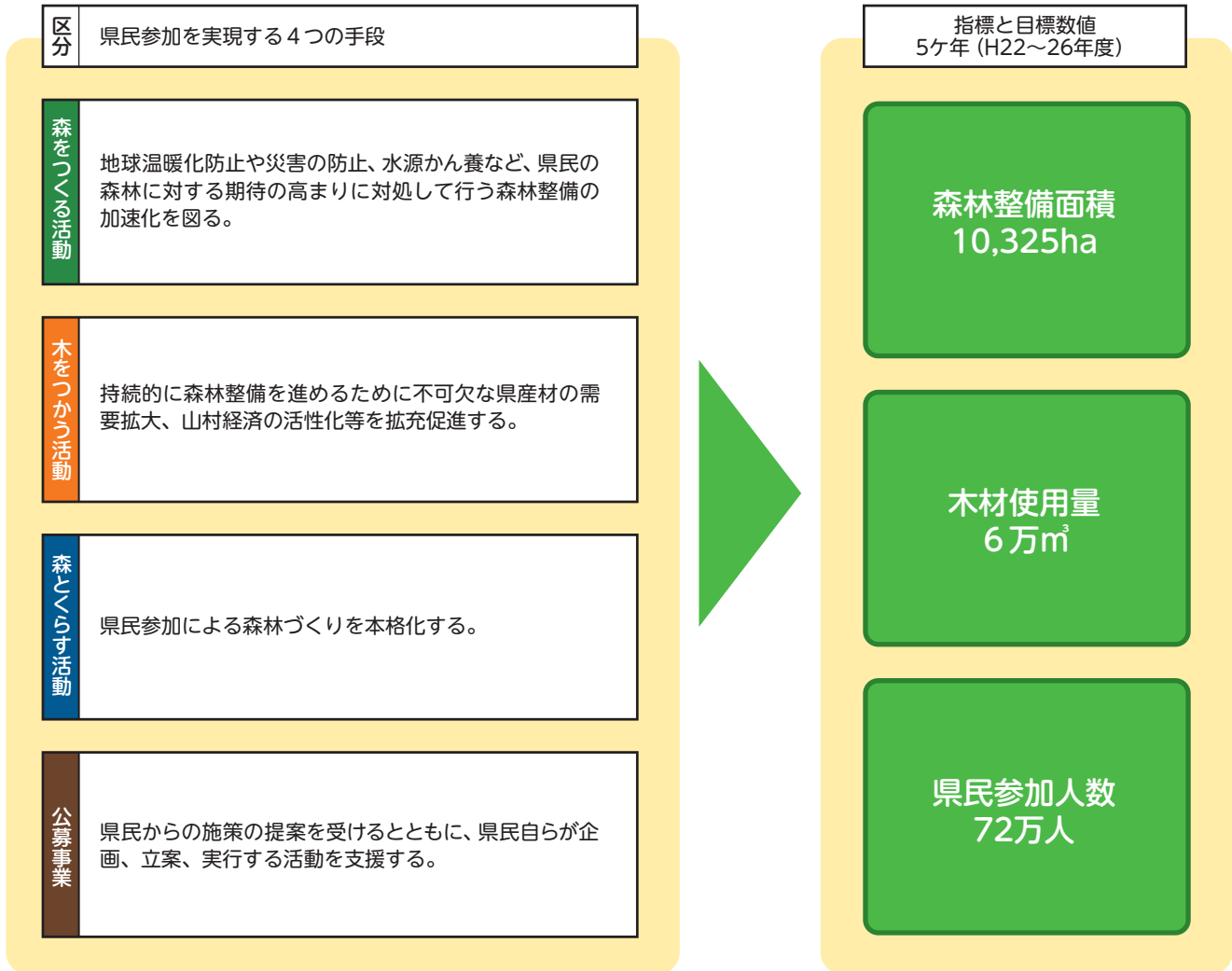
◎歳出額

区 分	事業名	決算額					
		H27	H28	H29	H30	R1	計
県指定事業 森をつくる活動		215,942,911円	225,851,274円	248,339,997円	322,820,446円	402,001,757円	1,414,956,385円
	①森林整備推進事業	65,642,700円	44,424,810円	39,801,100円	82,078,584円	146,836,452円	378,783,646円
	②集落等山地災害危険地区整備事業	32,984,603円	34,913,964円	34,561,992円	47,423,931円	46,510,802円	196,395,292円
	③松林等保全事業	1,296,000円	3,032,600円	2,936,000円	1,596,560円		8,861,160円
	④フォレスト・マイスター養成支援事業	12,693,041円	14,019,828円	17,643,162円	21,139,752円	18,190,088円	83,685,871円
	⑤里山放置竹林対策モデル事業	9,545,000円	15,104,616円	5,512,897円	19,128,602円	15,775,862円	65,066,977円
	⑥有害鳥獣総合捕獲事業	15,855,000円	14,735,000円	28,185,000円	35,407,500円	38,912,500円	133,095,000円
	⑦特定鳥獣保護管理計画推進事業	650,000円	5,795,160円	6,039,320円	6,527,000円	7,495,300円	26,506,780円
	⑧優良種苗確保事業	15,028,615円	27,176,367円	28,643,511円	23,477,073円	26,831,974円	121,157,540円
	⑨林業躍進プロジェクト推進事業	21,980円	110,915円	45,969円	286,771円	121,079円	586,714円
	⑩森林吸収クレジット販売促進事業	766,980円	1,015,494円	769,852円	475,247円	442,032円	3,469,605円
	⑪主伐推進緊急再造林対策事業	44,602,000円	44,528,943円				89,130,943円
	⑫木製ダム設置実証事業	14,000,000円	15,000,000円	15,000,000円	528,218円		44,528,218円
	⑬指定管理鳥獣捕獲モデル事業	2,856,992円					2,856,992円
	⑭森林認証材供給体制構築支援事業		5,993,577円				5,993,577円
	⑮次世代の森づくり促進事業			53,501,194円	63,001,208円	67,821,263円	184,323,665円
	⑯木質バイオマス利用促進事業【木質バイオマス生産低コスト化】			15,700,000円	21,750,000円	29,250,000円	66,700,000円
⑰次世代型林業作業システム実証事業					3,814,405円	3,814,405円	
県指定事業 木をつかう活動		218,143,433円	236,107,097円	229,058,580円	192,167,129円	189,302,707円	1,064,778,946円
	①木質バイオマス利用促進事業	23,321,414円	24,513,201円	17,366,263円	13,938,746円	8,276,716円	87,416,340円
	②公共施設木材利用推進事業	20,136,360円	24,791,000円	26,224,969円	38,251,493円	33,050,342円	142,454,164円
	③県立学校校舎等整備事業	40,000,000円	56,000,000円	72,000,000円			168,000,000円
	④自然公園等施設整備事業	4,560,011円	4,600,000円	4,482,003円	4,413,930円	4,523,073円	22,579,017円
	⑤木の香る公園施設整備事業	5,000,000円	5,000,000円	5,000,000円	5,000,000円	5,000,000円	25,000,000円
	⑥えひめ材住宅普及啓発事業	76,458,676円	79,239,580円	68,100,199円	69,596,825円	72,449,035円	365,844,315円
	⑦原木乾しいたけ等生産促進事業	23,564,008円	21,498,990円	21,163,232円	21,519,000円	16,763,819円	104,509,049円
	⑧愛媛県産材製品市場開拓促進事業	5,560,228円	6,797,183円	6,522,127円	8,534,310円	13,462,815円	40,876,663円
	⑨駐在所等庁舎整備	3,000,000円		3,000,000円			6,000,000円
	⑩中予家畜保健衛生所等整備事業	8,000,000円					8,000,000円
	⑪県産CLT普及促進事業	4,163,224円	7,376,558円	2,966,585円			14,506,367円
	⑫乾たけのこ産地育成事業	4,379,512円	6,290,585円	2,233,202円	3,543,692円	3,741,863円	20,188,854円
	⑬CLT建築物建設促進事業				21,085,133円	25,105,044円	46,190,177円
	⑭窯業技術センター整備事業				6,284,000円		6,284,000円
⑮えひめこどもの城「To-beの森」プロジェクト					6,930,000円	6,930,000円	
県指定事業 森とくらす活動		32,454,458円	35,253,727円	37,176,550円	30,464,824円	27,832,040円	163,181,599円
	①県民と森との交流促進事業	11,844,678円	11,681,020円	11,112,995円	10,508,130円	16,755,050円	61,901,873円
	②自然観察会開催事業	829,057円	1,424,765円	1,654,520円	1,728,557円		5,636,899円
	③森とのふれあい活動促進事業	12,080,830円	13,836,751円	15,544,049円	9,953,481円		51,415,111円
	④林業普及指導事業	3,129,333円	3,118,791円	3,828,786円	3,049,856円	3,283,990円	16,410,756円
	⑤「森林わくわく体験」推進事業	1,077,000円	1,732,000円	1,727,000円	1,732,000円	736,000円	7,004,000円
	⑥都市近郊林保全事業	493,560円	464,400円	313,200円	496,800円	509,000円	2,276,960円
	⑦「森に親しむ博物館」開催事業	3,000,000円	2,996,000円	2,996,000円	2,996,000円	3,042,000円	15,030,000円
⑧森林病虫獣害対策事業【旧松林等保全事業】					3,506,000円	3,506,000円	
公募事業		21,874,000円	20,875,000円	24,799,000円	24,970,000円	14,629,000円	107,147,000円
	県民参加の森づくり公募事業費	21,874,000円	20,875,000円	24,799,000円	24,970,000円	14,629,000円	107,147,000円

○ 計	488,414,802円	518,087,098円	539,374,127円	570,422,399円	633,765,504円	2,750,063,930円
○ 単年度保留額	52,180,995円	24,047,556円	15,770,414円	-9,894,666円	-73,620,755円	8,483,544円
○ 第2期残額及び保留額	99,048,690円	151,229,685円	175,277,241円	191,047,655円	181,152,989円	107,532,234円

第2期森林環境税の目標と実績

I 第2期森林環境税の事業目標



II 第2期森林環境税の事業実績

目標項目	目標数値	実績							
		H22	H23	H24	H25	H26	計	達成率(%)	
森林整備面積(ha)	10,325	3,616	3,776	1,247	804	477	9,920	96	
木材使用量(m ³)	60,000	23,514	21,475	27,936	37,252	31,302	141,479	236	
県民参加人数(人)	720,000	203,631	107,942	73,908	161,107	113,239	659,827	92	
内訳	木とふれあう人数	400,000	161,312	62,501	42,869	132,509	81,440	480,631	120
	森と交流する人数	250,000	27,984	34,266	20,851	17,989	21,259	122,349	49
	公募事業に参加する人数	70,000	14,335	11,175	10,188	10,609	10,540	56,847	81

第2期森林環境税 事業実績(平成22～26年度)

事業総括表

◎基金繰入額

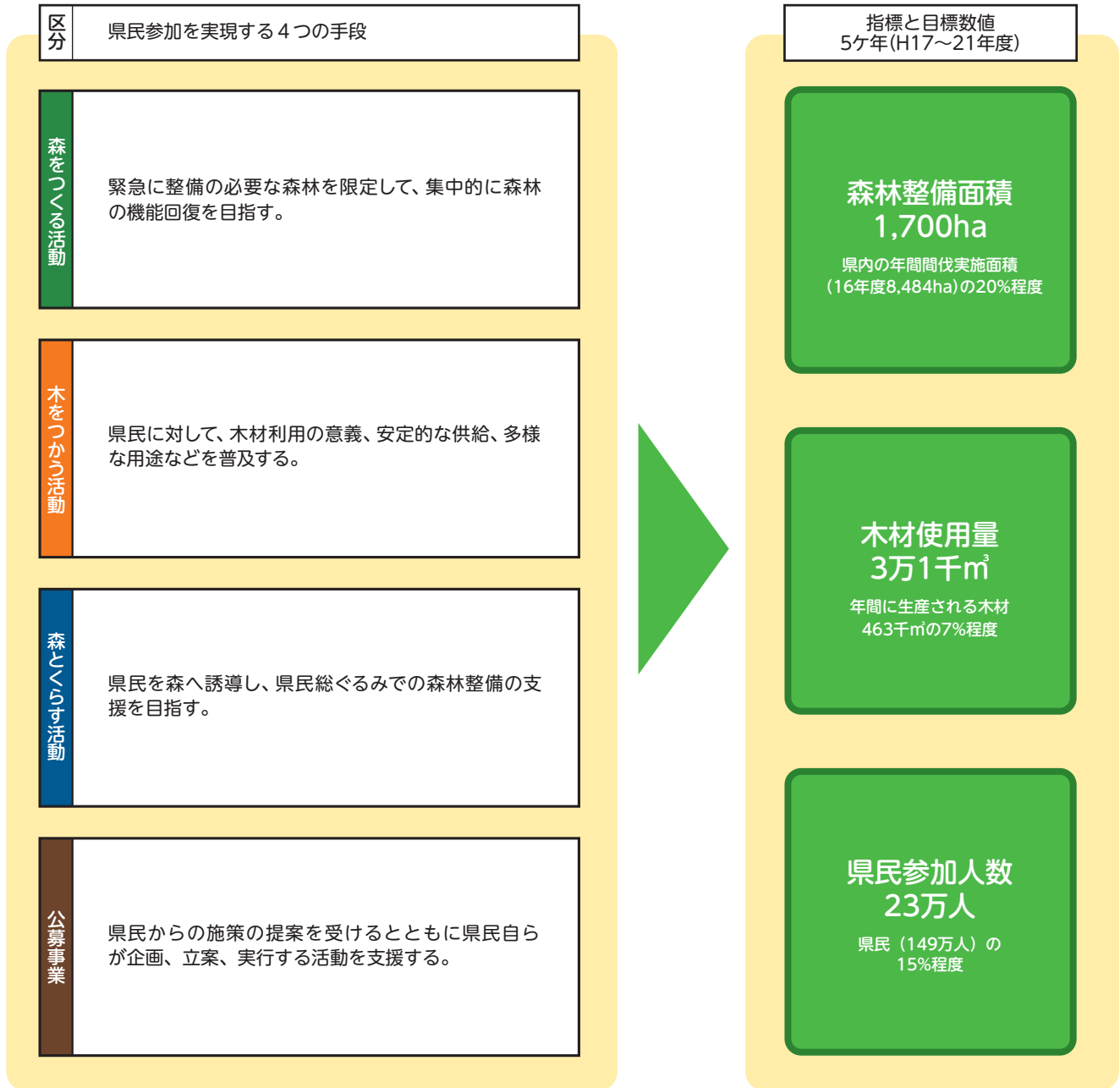
積立金	内容	決算額					
		H22	H23	H24	H25	H26	計
森林環境保全基金 積立金	森林環境税を財源に、全ての県民で支える森づくりの理解と参加の促進及び公益的機能を発揮できる森林保全の事業を計画的かつ確実に実施するため、基金を積み立てる。	496,481,865円	532,164,417円	542,892,841円	542,111,733円	544,738,678円	2,658,389,534円

◎歳出額

区分	事業名	決算額					
		H22	H23	H24	H25	H26	計
県指定事業 森をつくる活動		185,969,977円	296,125,789円	341,246,386円	256,407,511円	256,478,983円	1,336,228,646円
	①森林そ生集団間伐促進事業	64,808,160円	183,322,770円	181,900,770円	129,379,069円	126,851,646円	686,262,415円
	②集落等山地災害危険地区整備事業	93,880,000円	79,900,000円	50,223,230円	45,368,230円	55,014,364円	324,385,824円
	③松林等保全事業	958,921円	701,000円	8,445,307円	1,880,101円	2,564,872円	14,550,201円
	④フォレスト・マイスター養成支援事業	11,315,645円	9,525,525円	11,402,079円	10,260,820円	11,526,088円	54,030,157円
	⑤森林そ生緊急対策事業	154,751円	477,494円				632,245円
	⑥奥地水源林保全整備事業		12,694,000円	64,573,000円	42,230,000円	35,685,000円	155,182,000円
	⑦愛媛大学森林環境管理特別コース設置準備	14,852,500円					14,852,500円
	⑧ニホンジカ森林被害防止対策事業		6,505,000円	7,600,000円	7,535,000円	8,755,000円	30,395,000円
	⑨ニホンジカ緊急捕獲事業		3,000,000円	2,610,000円	3,915,000円	5,855,000円	15,380,000円
	⑩優良種苗確保事業			4,780,000円	4,536,000円	7,558,573円	16,874,573円
	⑪ニホンジカ個体数調整実証事業			1,612,000円	1,526,902円	1,566,400円	4,705,302円
	⑫撤出間伐促進緊急対策事業			8,100,000円			8,100,000円
	⑬森林吸収クレジット販売促進事業				1,395,082円	993,060円	2,388,142円
⑭林業躍進プロジェクト推進事業				8,381,307円	108,980円	8,490,287円	
県指定事業 木をつかう活動		183,197,831円	172,940,444円	213,558,934円	183,420,834円	199,713,003円	952,831,046円
	①木質バイオマス利用促進事業	23,056,600円	30,445,766円	35,697,900円	29,728,011円	30,003,000円	148,931,277円
	②公共施設木材利用推進事業	17,362,440円	46,973,540円	30,988,044円	28,028,552円	11,499,400円	134,851,976円
	③県立学校校舎等整備事業	16,000,000円		8,000,000円	8,000,000円	32,000,000円	64,000,000円
	④自然公園木製施設整備事業	4,388,000円	4,534,000円	4,333,000円	4,498,971円	4,291,892円	22,045,863円
	⑤木の香る公園施設整備事業	5,000,000円	3,000,000円	3,000,000円	2,700,000円	2,700,000円	16,400,000円
	⑥えひめ材住宅普及啓発事業	45,981,380円	35,101,907円	64,813,658円	48,971,662円	70,981,718円	265,850,325円
	⑦木質ペレット利活用促進事業	1,120,000円					1,120,000円
	⑧愛媛ヒノキ材ブランド化推進事業	2,250,660円	1,959,205円				4,209,865円
	⑨原木乾しいたけ生産促進事業	28,733,899円	22,947,826円	24,249,981円	16,035,447円	23,799,203円	115,766,356円
	⑩愛媛県産材製品市場開拓促進事業	7,304,852円	16,978,200円	24,080,351円	27,390,391円	14,437,790円	90,191,584円
	⑪今治特別支援学校新居浜分校体育館整備事業	8,000,000円					8,000,000円
	⑫駐在所等庁舎整備	24,000,000円	3,000,000円			3,000,000円	30,000,000円
	⑬県立学校校舎等整備事業(緊急経済対策分)		8,000,000円				8,000,000円
	⑭新居浜特別支援学校施設整備事業			8,000,000円			8,000,000円
	⑮特別支援学校教育環境整備事業			3,000,000円			3,000,000円
	⑯住宅等リフォーム木材利用促進事業			7,396,000円			7,396,000円
	⑰新繊維産業技術センター整備事業				8,000,000円		8,000,000円
	⑱原木乾しいたけ緊急対策事業				10,067,800円		10,067,800円
	⑲水産研究センター魚類検査室移設					3,000,000円	3,000,000円
⑳原木乾しいたけ消費拡大緊急対策事業					4,000,000円	4,000,000円	
県指定事業 森とくらす活動		33,953,089円	40,795,006円	37,861,783円	34,933,999円	26,986,045円	174,529,922円
	①県民と森との交流促進事業	14,581,579円	13,225,058円	11,820,999円	11,413,728円	11,228,434円	62,269,798円
	②県民参加の森設置・提供事業	10,000,000円	15,340,000円	13,176,050円			38,516,050円
	③自然観察会開催事業	1,019,000円	1,191,000円	1,628,000円	1,605,700円	818,020円	6,261,720円
	④森とのふれあい活動促進事業	2,131,209円	1,192,882円	1,324,895円	11,454,545円	7,796,740円	23,900,271円
	⑤林業普及指導事業	1,824,837円	2,003,533円	2,268,217円	3,316,169円	2,687,531円	12,100,287円
	⑥「森のめぐみ 木のものごと展」開催事業	868,764円					868,764円
	⑦「森の学校」開催事業	488,600円					488,600円
	⑧「森林わくわく体験」推進事業	2,575,000円	5,172,000円	5,172,000円	4,700,000円	2,046,000円	19,665,000円
	⑨慰霊塔維持管理(都市近郊林保全事業)	464,100円	495,600円	472,500円	399,000円	409,320円	2,240,520円
⑩巡回展「森の博物館」開催事業		2,174,933円	1,999,122円	2,044,857円	2,000,000円	8,218,912円	
公募事業		29,493,000円	36,055,000円	36,815,000円	26,987,000円	24,284,000円	153,634,000円
	県民参加の森づくり公募事業費	29,493,000円	36,055,000円	36,815,000円	26,987,000円	24,284,000円	153,634,000円
○計		432,613,897円	545,916,239円	629,482,103円	501,749,344円	507,462,031円	2,617,223,614円
○単年度保留額		63,867,968円	-13,751,822円	-86,589,262円	40,362,389円	37,276,647円	41,165,920円
○第1期残額及び保留額		57,882,770円	121,750,738円	107,998,916円	21,409,654円	61,772,043円	99,048,690円

第1期森林環境税の目標と実績

I 第1期森林環境税の事業目標



II 第1期森林環境税の事業実績

目標項目	目標数値	実績							備考	
		H17	H18	H19	H20	H21	計	達成率(%)		
森林整備面積(ha)	1,700	73	274	625	1,016	4,321	6,309	371		
木材使用量(m ³)	31,000	-	4,848	2,672	5,725	14,054	27,299	88	H18開始	
県民参加人数(人)	230,000	20,853	60,232	112,330	178,134	257,680	629,229	274		
内訳	木とふれあう人数	112,000	9,659	43,282	88,432	97,916	203,176	442,465	395	
	森と交流する人数	78,000	2,430	3,355	8,838	63,228	36,383	114,234	146	
	公募事業に参加する人数	40,000	8,764	13,595	15,060	16,990	18,121	72,530	181	

第1期森林環境税 事業実績(平成17~21年度)

事業総括表

◎基金繰入額

積立金	内 容	決算額					
		H17	H18	H19	H20	H21	計
森林環境保全基金積立金	森林環境税を財源に、全ての県民で支える森づくりの理解と参加の促進及び公益的機能を発揮できる森林保全の事業を計画的かつ確実に実施するため、基金を積み立てる。	209,000,000円	347,304,763円	399,217,420円	395,729,336円	399,342,916円	1,750,594,435円

◎歳出額

区 分	事業名	決算額					
		H17	H18	H19	H20	H21	計
県指定事業 森をつくる活動		24,338,020円	104,800,654円	136,743,605円	187,112,074円	274,911,568円	727,905,921円
	①源流の森整備保全事業	9,612,000円	48,921,700円	77,481,000円	60,567,000円		196,581,700円
	②集落防災緊急森林整備事業	14,726,020円	32,716,260円	40,515,170円			87,957,450円
	③流木等防止山地保全事業		18,860,000円	13,540,000円			32,400,000円
	④里地里山再生モデル事業		4,302,694円	2,635,633円			6,938,327円
	⑤えひめ漁民の森づくり実践活動事業費(漁政課)			2,072,802円	2,188,308円	1,229,015円	5,490,125円
	⑥条件不利森林公的整備事業費			499,000円	903,000円	2,785,000円	4,187,000円
	⑦森林そ生集団間伐促進事業				23,943,766円	170,524,819円	194,468,585円
	⑧集落等山地災害危険地区整備事業				99,510,000円	96,266,000円	195,776,000円
	⑨松林保全事業					3,868,529円	3,868,529円
	⑩森林そ生緊急対策事業					238,205円	238,205円
県指定事業 木をつかう活動		28,519,000円	94,209,304円	70,687,605円	66,282,768円	176,290,511円	435,989,188円
	①木の香る環境づくり促進事業費	5,083,000円	5,667,000円	4,653,000円			15,403,000円
	②木に親しむ学び舎づくり促進事業	6,600,000円	2,793,000円	1,375,000円			10,768,000円
	③今治養護学校新居浜分校整備事業	836,000円					836,000円
	④木質バイオマス利用促進事業費		617,304円	413,544円	5,299,916円	12,978,000円	19,308,764円
	⑤えひめ材住宅普及啓発事業費		3,234,000円	3,183,000円	6,561,000円	6,597,000円	19,575,000円
	⑥公共施設木材利用推進事業費		64,898,000円	20,836,000円	10,076,000円	111,025,000円	206,835,000円
	⑦県立学校校舎整備事業費(高校教育課)	16,000,000円	17,000,000円	16,000,000円	16,000,000円	8,000,000円	73,000,000円
	⑧自然公園木製施設整備事業費(自然保護課)			11,861,061円	7,438,302円	5,734,721円	25,034,084円
	⑨木の香る公園施設整備費(都市整備課)			1,850,000円	3,570,000円	5,000,000円	10,420,000円
	⑩えひめ材の家づくり促進支援事業費			7,524,000円	8,604,000円	20,807,000円	36,935,000円
	⑪バイオマスペレット利活用総合対策事業費(農政課)			2,992,000円	3,688,700円	1,434,200円	8,114,900円
	⑫木の香る環境整備支援事業費				2,881,000円	2,886,000円	5,767,000円
	⑬えひめ材公共工事活用促進事業				2,163,850円		2,163,850円
⑭愛媛ヒノキ材ブランド化推進事業費					1,828,590円	1,828,590円	
県指定事業 森とくらす活動		27,958,310円	26,161,653円	48,614,635円	250,551,305円	49,248,653円	402,534,556円
	①県民と森との交流促進事業費	12,828,310円	6,448,353円	5,943,702円	11,859,355円	11,240,291円	48,320,011円
	②県民参加の森設置・提供事業費	15,130,000円	16,545,000円	33,740,000円	32,240,000円	19,111,000円	116,766,000円
	③「森はともだち」推進事業費(義務教育課)		1,575,000円	3,150,000円	3,150,000円	1,575,000円	9,450,000円
	④自然観察会開催事業費(自然保護課)		1,593,300円	1,014,933円	1,226,489円	1,133,531円	4,968,253円
	⑤森とのふれあい活動促進事業費			4,766,000円	5,317,207円	2,599,675円	12,682,882円
	⑥フォレスト・マイスター養成支援事業費				9,132,360円	9,884,875円	19,017,235円
	⑦林業普及指導事業費				3,489,000円	2,110,701円	5,599,701円
	⑧「森のめぐみ 木のものがたり展」開催事業費(生涯学習課)				1,579,603円	897,060円	2,476,663円
	⑨全国育樹祭開催事業				182,557,291円		182,557,291円
⑩「森の学校」開催事業費					696,520円	696,520円	
公募事業		17,695,000円	27,995,000円	28,909,000円	26,267,000円	25,416,000円	126,282,000円
	県民参加の森づくり公募事業費	17,695,000円	27,995,000円	28,909,000円	26,267,000円	25,416,000円	126,282,000円
○ 計		98,510,330円	253,166,611円	284,954,845円	530,213,147円	525,866,732円	1,692,711,665円
○ 保留額		110,489,670円	94,138,152円	114,262,575円	-134,483,811円	-126,523,816円	57,882,770円